

## 第 65 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会設立総会及び担当者会議事録

日時：令和 5 年 6 月 29 日（木） 13：45～15：45

場所：恵庭市民会館 1 階 第 1 会議室

出席者

文化庁 文化財第一課芸能部門文化財 調査官	山中 千紗子
青森県 教育庁文化財保護課 主事	佐々木 太郎
岩手県 文化スポーツ文化振興課 主任主査	濱守 豊司
宮城県 教育庁文化財課保存活用班 技師	遠藤 健悟
秋田県 教育庁生涯学習課文化財保護室 学芸主事	石川 和良
山形県 観光文化スポーツ部 博物館・文化財活用課 主事	荒木 涼
北海道 文化財保護審議会 副会長	角 美弥子
北海道 教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 課長	菅野 泰之
北海道 教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 主査	菊地 梢
北海道 教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 主事	青山 桃子
恵庭市 教育委員会教育部社会教育課 課長	黒氏 優子
恵庭市 教育委員会教育部社会教育課 主査	佐々木 拓

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ（菅野課長、文化庁 山中調査官）
- 3 出席者自己紹介
- 4 協議
- 5 次期開催道県（宮城県）について
- 6 事務連絡
- 7 閉会（会場「恵庭市民館内」視察へ）

### 1 開会

（菊地主査）

本日はお忙しい中、遠方よりご出席いただきましてありがとうございます。

本日進行役を務めさせていただきます、北海道教育庁文化財・博物館課の菊地と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、第 65 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会設立総会及び担当者会議を開催いたします。

### 2 あいさつ（菅野課長、文化庁 山中調査官）

（菊地主査）

開催にあたり、主催者を代表しまして、北海道教育庁文化財・博物館課課長の菅野から御挨拶申し上げます。

（菅野課長）

皆様、御多用な中、遠路はるばる、北海道の恵庭にお越しくださしまして、ありがとうございます。「イランカラテ」という言葉をご存じでしょうか。首をかしげているということは、もしかしたら初めて聞いた方もいらっしゃるかもしれませんが、アイヌ語で「こんにちは」そして「あなたの心にそっと触れさせていただきます」というような意味も込められてい

ます。

ぜひこの機会に、「イランカラッテ」という言葉をご承知いただき、県に戻られてからご紹介いただければ大変ありがたいというふうに存じます。

本日は文化庁から山中調査官様、そして各県からお集まりいただきありがとうございます。各県の皆様におかれましては、大会の円滑な開催に向けて色々のご協力いただいております。感謝申し上げます。

そして本大会は、50年以上の歴史のある大会でございます。

この間、新型コロナの影響もありまして、なかなか披露する機会もなかった方々、そして、伝統の糸を紡いでこられた方々には、今回800名ほどの観客が入るホールでございますので、是非そこで多くの観衆の前でご披露いただき、盛大に開催されることを願っております。

さて、北海道では、ご存知のように東北3県さんと連携して、保全活用に取り組んでおります縄文遺産、そして、ユネスコの無形文化遺産にもなっておりますアイヌ伝統古式舞踊、こういったアイヌ文化を始めとして、先般27日に、国宝として指定された、北海道では中空土偶に続きまして2件目ではありますが、黒曜石からなる白滝遺跡群、こういった魅力ある文化資源がございます。

そしてまたこの大会は、各地域での民俗芸能のさらなる魅力発信、そして何より伝承者の育成、こういったことにも繋げていただければ、幸いでございます。そして文化芸術を通じまして、一つの心の繋がり、そして何より豊かさをもたらしてくれるのではないかとことを期待しております。

最後に開催地であります、恵庭市の関係者の皆様、安全安心で、思い出づくりに繋がるような大会としていただけますよう、ご協力についてよろしくお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。なにかと、お世話になります。よろしくお願いいたします。

(菊地主査)

次は本日、文化庁文化財第1課の山中調査官にお越しいただいておりますので、ご挨拶をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(山中調査官)

皆様こんにちは、文化庁文化財第1課芸能部門の山中と申します。本日総会の方へ参加させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。北海道・東北ブロックでは昨年度は青森県様で開催いただいて、私はそちらにも参加させていただきましたが、コロナの影響ですと延期が続いておりましたので、本当に久しぶりに青森県さんで開催していただいて、非常に皆様、感動されていたという印象が大きく、私もやっと元に戻ってきたなと言いますか、まだコロナは収束しておりませんので、コロナの影響で民俗芸能の伝承活動の方にも支障があると思いますけれども、一方でコロナの中で、皆様頑張って伝承活動続けていらっしゃるということも昨年度の青森県様の大会を通じて、それが皆様に伝わったと思いますし、民俗芸能をやっていらっしゃる方々も実感していただけたのではないかなというふうに感じました。今年は、北海道の恵庭市様で開催ということで、おそらくこれまでと同じようなスタイルで開催できるのではないかと期待しております。

ただ一方で、健康第一、安全第一でありますので、ご無理のない範囲で、この大会がうまく運営されるといいと思っております。文化庁としましても、補助をする立場から、適切な指導助言に努めて参りたいと思っておりますので、なかなか大会をやるということは大変なことではありますが、皆様で一丸となって楽しく進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(菊地主査)

ありがとうございました。なお、課長の菅野につきましては、公務のためここで退席させていただきます。

(菅野課長)

申し訳ありません、退席させていただきます。失礼します。

### 3 出席者自己紹介

(菊地主査)

次に、東北各県の方に出席していただいておりますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。青森県さんから、よろしくお願いいたします。

(青森県)

みなさん初めまして、青森県文化財保護課文化財グループの佐々木と申します。昨年度は會田の方が、青森県の取り組みの際にお世話になりました。今年度もよろしくお願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。次は岩手県様。

(岩手県)

岩手県文化スポーツ部文化振興課、濱守と申します。今年度から世界遺産担当が民俗芸能も所管するというので、初めての参加ではありますが、よろしくお願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。

(宮城県)

宮城県教育庁文化財課の遠藤と申します。私、文化財課2年目で大会も2回目なのですが、去年の大会とは顔ぶれが大分変わっていて驚いています。去年は私が新顔だったのですが。また後ほどお話があるかと思いますが、来年は宮城県開催を予定しておりますので、そちらもよろしくお願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。それでは秋田県様。

(秋田県)

皆さん初めまして、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室の石川と申します。よろしくお願いいたします。2年前までは、高校の教員として、秋田県は結構教員の方が在籍していることが多いのですが、昨年度は、全く違う文化財担当でしたので、新顔ということになります。何卒、ご指導よろしくお願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。それでは山形県様

(山形県)

お疲れ様です。山形県の博物館観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課の荒木と申します。よろしく願いいたします。文化財の担当になるのは今年が初めてでして、前の職場では税金の計算というか税務の仕事という、全く畑違いの中でやっていたものでうまく進まないところもあるのですけれども、前任の本木先生が5年ほど、こちらの担当をされていたということで、色々聞きながら進めていければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(菊地主査)

それでは、開催地の恵庭市さんの方から。

(恵庭市・黒氏課長)

みなさんこんにちは。ようこそ恵庭市にいらっしゃいました。私、社会教育課長の黒氏と申します。少しだけお話させていただきますと、実は私も全く畑違いの所になりまして、図書館からの異動で去年ここにやってきました。恵庭市にはスズラン踊りという踊りがありまして、今回50周年を迎えるのですけれども、そちらもあって、恵庭市を今回開催地として選んでいただけています。本当にありがとうございます。今後ともですね、いい大会になるように、皆様のご協力を得ながら、大会のお手伝いをさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。では、北海道から、角委員から一言お願いいたします。

(角委員)

北海道の文化財保護審議会委員の角と申します。民俗芸能の担当なので、こちらに参加させていただいております。皆さんに北海道に来ていただいて大変嬉しいのですけれども、残念ながらこの気候でちょっとがっかりされているのかなと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

(菊地主査)

順番前後して申し訳ございません、恵庭市の佐々木主査もお願いいたします。

(恵庭市・佐々木主査)

会場となります北海道恵庭市教育委員会、教育部社会教育課の佐々木と申します。どうぞよろしく願いいたします。

(菊地主査)

ありがとうございます。

(青山主事)

北海道教育庁文化財博・物館課の青山と申します。よろしく願いいたします。文化財博物館課は今年度4月から参りまして、まだまだ勉強不足なところもあるかと思いますが、皆様のサポートさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(菊地主査)

最後に私、北海道で民俗芸能大会を担当します、菊地と申します。私も行政の人間ですので、

昨年文化財・博物館課に異動してきまして、初めて民俗芸能に携わりました。その時初めてこんな世界があるんだと思ったところからの、今年度は開催地ということで、大変緊張しております。去年までは、秋田県さんや山形県さん、青森県さんといった長く民俗芸能に携わっていた諸先輩方がいらしたので、「来年の開催はどうしたらいいか」ということを相談させていただいたりしたのですが、今年は先ほど宮城県さんも仰っていたとおり、急に先輩になってしまいました。

少し心もとないところもありますけれども、頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 4 協議

(菊地主査)

それでは本日の日程及び配付資料の確認をさせていただきます。

まず、配付資料についてですが、五つございます。一つ目は、本日の資料と、出席者名簿、二つ目は説明資料1から資料20をまとめたもの、三つ目は別紙1、各道県から提出して頂いた出演団体調書を印刷したもの、四つ目が、昨年度青森県さんが作成した「国及び道県指定・選択無形民俗文化財一覧」そして最後が別紙3、恵庭市市民会館の周辺の駐車場の場所となっておりますので、後ほど、恵庭市さんからご説明いただければと思っております。

次に、本日の日程につきましては、左にあるとおり、今のところ3の出席者自己紹介が終わっております。今後、4の協議に入りまして、最後に次期開催県である宮城県さんから一言いただきまして、会議を一旦締めましましてから、会場内を見て、解散とさせていただきます。終了は15時45分を目処に進めていきたいと考えております。ではまず、協議事項(1)から(4)についてでございます。資料の1から4をご覧ください。こちら先日各県の委員の方たちに、書面にて承認をいただきまして、ご了承をいただいております。ありがとうございました。

これもちまして、本日6月29日付けで、第65回北海道東北ブロック民俗芸能大会実行委員会が正式に成立しましたことをご報告させていただきます。

また、実行委員会のメンバーにつきましては、資料5に、実行委員会名簿を載せてありますので、後程ご覧ください。

なお、今回の協議内容につきましては、令和2年度に北海道で定められました『実行委員会方式による事業実施マニュアルに』に合わせて作成しており、前回の青森大会まではなかった協議内容も含まれており、戸惑われた県もあったかと思いますが、委員の皆様からは、ご承認いただきまして、まことに感謝しております。

この協議内容の追加による大会運営にかかる大きな変更はございませんが、1点、資料1の事業計画にあるとおり、年度末に書面によって実行委員の先生方に事業報告ですとか、収支決算の承認を諮らせていただく予定となっておりますので、どうぞご承知おき願います。実行委員会形式で道費を使う場合はきちんと決算の報告も委員の先生方の承認をもらわなければならないとなっているため、こういう形にさせていただいております。

次に(5)に移らせていただきます。資料6をご確認ください。資料6の出演者の一覧と、別紙として先日提出いただきました調書をまとめております。各出演団体の概要と、必要な道具等については資料に記載のとおりかと思いますが、不足や訂正ありましたら、後日でも、この場でもいいですので、菊地までお知らせいただければと思います。何か今の時点で、お気づきになったこととか、追加で説明したいことなどございますでしょうか。

(菊地主査)

よろしいでしょうか。それでは修正等ございましたら、後日でも構いませんので、菊地の方までご連絡お願いいたします。

では次、次第の協議事項(6)お大会日程についてご説明させていただきます。資料7、大会日程案をご覧ください。会場は両日ともに、今、皆さんに来ていただいているここ恵庭市民会館となります。大会の本番が10月29日日曜日、前日の28日土曜日はリハーサルと実行委員会を行うこととしております。そして、過去、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前までは、前日リハーサルの夜に情報交換会ということで、皆様と懇談するという席を設けていたのですが、今年度の開催については、まず、皆様のご意見を聞いてから決めたほうがいいのかということで、今現在実施未定となっております。この後、皆様にご意見伺えたらと思っております。

なお、各県及び各実行委員会委員の宿泊先につきましては、資料20にも記載しておりますけれども、JR恵庭駅に近い、恵庭ステーションホテルを予定しております。素泊まり6,800円となっております。朝食夕食の提供がまだコロナの影響から抜けきっていないということで、6月現在では、朝食夕食の準備がないということなので素泊まりで泊まっていただく形になります。

次に、資料8、タイムテーブル案をご覧ください。リハーサル及び大会の出演順につきましては、各道県の出演団体の所在地、あとは青森県さんですと調書の「主催者への要望等」の欄に、リハーサルの時間など希望が書かれておりましたので、そういったものを参考に、現時点の案ということで、私の方で記入してあります。これも持ち帰り、各団体の方とも検討していただくようお願い致します。ご要望にこたえられるかについては、要望が重なった場合難しいということあるかもしれませんが、できる限り調整いたしますので、私までお申し出ください。

東北から北海道までの距離が遠いということで、前回の青森県大会に比べて開始の時間を1時間半遅くしてあります。去年、青森県さんでのリハーサルの開始時間は9時からだったのですが、平成26年度の北海道大会などのリハーサルの時間を参考にしつつ、こちらの方で、開始時間を1時間半遅らせ、終了時間も1時間ほど前回の青森県大会よりも遅くさせていただいております。

その関係で、1団体当たりのリハ時間を昨年度の青森県さんや前々回大会の山形県さんでは40分取っていたのですが、今回は35分とさせていただこうかと思っておりますので、ご承知おきください。

このリハーサル時間の調整によって、実行委員会の時間も、昨年度に比べて遅くなっております。

青森県さんから引き継ぎを受けたところ、リハーサルの開始時間を遅く望まれる団体が多く、本番は早めの出演を望まれる団体が多いとおっしゃっていたので、本番の時間は大きく変更されませんが、リハーサルの時間だけでもと考えると、このような形にしてありますので、ご承知おきください。

そして、先ほどの実行委員会後の情報交換会もこのリハーサルタイムテーブルでいきますと、実施する場合は実行委員会が18時に終わり、舞台・会場準備が19時に終わる流れになっておりますので、情報交換会を行うとしたら、19時半ぐらいになってしまうかなというところです。

このこともありますので、皆様の令和5年度の情報交換会開始についてのご意見いただければなと思っていた次第です。

次に、資料9の「開会式について」をご覧ください。去年とほぼ変えていないのですが、今のところ、開催地である恵庭市の市長様からご挨拶いただく予定です。なお、去年は個人表彰の対象者が多かった関係で、実行委員会委員の紹介を省かざるを得ず、せっかく壇上に上がっていただいたのに、ご紹介できなかったことが心残りだったと青森県さんが仰っておりました。もし北海道大会で個人表彰が多くならなければ、実行委員会委員の方のご紹介も行わせていただければと思っております。

次に、(7)の大会表彰についてです。資料12として表彰規定を掲載しておりますので、ご確

認ください。先ほども、青森県大会のことをお話しましたがけれども、開会式において、各道県の文化財保護審議委員を退任された方、かつ、多年にわたり芸能大会の実行委員として功績があった方を表彰するものです。もし、今年度においても各道県で表彰規定に該当する委員の方がおられましたら、資料 12 の個人表彰推薦調書よりご推薦ください。

次に資料 11 をご覧ください。大会の開始までに提出していただく書類一覧を載せてあります。

一番上にあるのが、先ほどお伝えしました「個人表彰推薦調書」、次に資料 13 「出演団体名簿」、資料 14 「舞台調書」、資料 15 「出演団体行程等調書」、資料 16 「振込口座申出書」、資料 17 として「プログラム原稿」でございます。これらをまず第 1 弾として、7 月 28 日金曜日までに、提出していただきたいと思っております。エクセルの様式は後日私の方から送らせていただきます。第 2 弾として、資料 17 「実行委員・事務担当者宿泊申込書」、資料 18 「国及び道県指定無形民俗文化財一覧」を提出していただきます。いまお配りしているものは令和 4 年度 10 月現在のものですので、それ以降に追加等があれば修正のうえ、提出をお願いします。こちらも後日データでお渡しいたします。なお、過去のものでも間違っていたりすることもあるようなので、お時間があれば「何年も前から載せているものだから大丈夫だろう」と思わずに、県のものを通り目を通していただければと思います。

最後に、大会が終わった後に出していただく「大会記録用原稿」。資料 19 ですが、こちらは 11 月 24 日を締め切りとさせていただいております。

なお、別紙 3 の駐車場の関係で、市民会館駐車場の方は大型車も駐車可能ということでよろしいでしょうか。

(恵庭市・佐々木主査)

大型バスは展開するスペースも必要なので、4 台ぐらい停められます。また、市役所駐車場と書いてあるところも十分停められますので、場合によってはそちらで停めていただいても大丈夫です。

(菊地主査)

バスなどで来ることを考えていらっしゃる県はありますか。

(青森県)

青森県は今のところバスで来たいと思っています。

(菊地主査)

それは青森県からずっとバスで来るということでしょうか。

(青森県)

はい、フェリーに乗って。バスでなければちょっときついと団体がおっしゃっています。

(恵庭市・佐々木主査)

あと、大型の機材関係を持ち込まれる場合は、機材用の会館の入口があるので、もしあればこちらの入口からお願いします。

(菊地主査)

地図でいうと、どの部分になるでしょうか。

(恵庭市・佐々木主査)

恵庭市民会館の「館」の字辺りにちょうど道路と隣接しているところがあり、そこに搬入口がありますので、もし大型トラックとか、高さがあるもので運んでくる場合は、そちらからの搬入も可能でございます。

(菊地主査)

わかりました。先日団体が決まったばかりで細かいことが決まるのもこれからになると思いますので、佐々木主査にご相談させていただきます。

## 5 次期開催道県（宮城県）について

(菊地主査)

それでは、「次期開催県について」に進ませていただきます。次期開催県についてですが、資料10をご覧ください。ここにあるとおり、昭和34年から持ち回りで開催しております。これまでの流れでいきますと、令和6年度は、宮城県さんが開催地となりますので、よろしくお願いいたします。では、遠藤さんから一言来年度に向けてお願いいたします。

(宮城県)

宮城県の遠藤でございます。自己紹介の時にも少し申し上げましたが、来年度は宮城県での開催ということでお願いできればと思います。これまで、ここのリストを見ていただくと、仙台市市民会館というところが非常に多いのですが、来年度については、仙台市以外での開催を検討しているところですが、ただ、宿泊ですとか、交通の便といったところもございまして、仙台市にお泊まりいただいて十分移動できる距離の中で、ホールを現在何ヶ所か検討しているところがございます。宮城県の無形民俗の保護団体の皆さんが、この芸能大会も2年延期になったことでもあります。コロナでだいぶ元気がなくなってございます。今回、宮城県で選定中となっておりますけれども、団体の活動が県内で二極化してございまして、元気のところはすこぶる元気で、元気がないところがどんどん活動できなくなっている、という状況でございます。そこで今、県内の市町村指定も含めた全ての団体に照会をかけ、状況を把握しながら、県で選定しているところです。来年度、宮城県大会を開催することで、宮城県だけでなく、北海道・東北の芸能がより盛り上がりというのを考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(菊地主査)

今、遠藤さんにごあいさついただきましたが、本番の開会式でも、最後に次期開催県ある宮城県さんからご挨拶いただく予定です。北海道も昨年度に当時の課長が挨拶しておりますし、代々課長さんが挨拶されていること多いようですので、どうぞ準備のほど、よろしくお願いいたします。

## 6 事務連絡

(菊地主査)

事務局からの説明は以上となりますが、何かご質問等ございますでしょうか。

(岩手県)

29日の公演の終わった後、閉会式みたいなことが特になく、公演が終わった団体はそのまま撤収ということでよろしいでしょうか。



(菊地主査)

はい、そのため開会式で次期開催県の挨拶も行ってしまうという形です。ですので、早く帰れるように、より遠い地域の団体さんを早い順番にしております。

(青森県)

リハーサルの際は、自分の県の団体さんがリハーサルを行う際に到着していればよろしいのでしょうか。県の担当者も団体さんと一緒にリハーサルの時間に到着するということで。

(菊地主査)

はい、そうです。

(青森県)

わかりました。

(山形県)

28日のリハーサル時にちょっと所用のある方が数人ほどおりまして、全員揃ってリハーサルができない可能性があるのですが、リハーサルについては、流れがわかるのであれば全員が参加しなくても大丈夫でしょうか。

(菊地主査)

どこから入って、どこに立って、どこにマイクが必要で、どういうライトを当てるのか、そういう流れを確認するためのリハーサルなので、全員揃っていないなくても、そういったことが確認できるのであればこちらとしては大丈夫です。

なお、団体さんが練習できるように中ホールもごさいますので、リハーサルが無くて不安であれば別途そちらを使って練習していただくことも可能です。

(秋田県)

出演団体さんの宿泊先のホテルについてですが、実行委員の方々は先ほど資料にありましたホテルに泊まっていたと思うのですが、団体の人たちは皆、自由に泊まるということでしょうか。

(菊地主査)

はい、そうです。恵庭市さんには正直あまりホテルが多くありませんが、近隣も含めて考えると、千歳市や札幌市にはホテルが多くあります。札幌であれば恵庭から快速で乗り換え無しで24分ぐらいで着きますし、千歳市もJRで5分ぐらいで到着します。

近隣のホテルというふうに考えていただくと、選択肢はたくさんあるのかな、と思います。

(恵庭市・佐々木主査)

今、恵庭市はステーションホテルが出ていましたが、もう1ヶ所、ここから1.2キロぐらいの所にホテルがもう一つあります。それ以外のホテルになると、道の駅にある外資系のホテルで去年オープンしたのがあるのですが、そこは多分一泊1万5千円ぐらいのお洒落な感じのホテルです。

それ以外で恵庭市でホテルを見つけるのは難しいので、千歳市か札幌になるのかなと思います。

(菊地主査)

幸い交通の便はとてもいいので、JRでも乗り換え無しで済みますし、もし車を使われるのであれば、移動もしやすく距離も近いかと思います。

(恵庭市・佐々木主査)

ステーションホテルは食事が無いことを考えると、バスをお持ちだったら、千歳とかのほうがいいかもしれない。もしリハーサル終わって試合があれば、エスコンフィールドに行くことも出来ます。

(岩手県)

大会後の後、文化庁に提出していた記録作成は今年はどうなりそうですか。

(山中調査官)

毎年、この大会の記録集とは別に提出いただいていた、記録作成というものがあったのですが、昨年度までそちらの方提出いただいていたのですが、各道県のご担当者様と、保存会様の方に大変ご迷惑とお手間をかけてしまっている経緯がございましたので、私どもの方で検討しました結果、記録作成の方は今年度から実施しないということで、決めさせていただきました。

記録集というものを別途お作りいただいておりますので、それとは別に記録作成という形でご提出いただくと、似たような情報をもう一度お出しいただく作業にもなりますので、そういった意味でも、今年度から記録作成は無しになったということをお伝えさせていただきます。

(岩手県)

団体さんの謝金額は変わらないのでしょうか。

(菊地主査)

そうですね。例年どおりで予定しております。

(菊地主査)

その他、なにかございますでしょうか。

(岩手県)

私たちの役割で確認したいのですが、先ほど団体に付き添うといった話がありましたが、団体の人を会場で出迎えて、リハーサルを見届けて、解散するといった流れでよいのでしょうか。

(宮城県)

宮城県ですと、出迎えをして、リハーサルまでの間や当日に何か問題があれば、御用聞きのようなことをして、見送りするという形でした。また、課長や審議委員の先生方を来たときに団体の方と引き合わせたりと、と色々だったと思います。

(岩手県)

例えばリハーサルが終わってお疲れ様でしたとなった後に、タイムテーブルの3と4は我々も出るのでしょうか。

(菊地主査)

3は北海道職員だけです。4は、皆さんに出席いただく形になります。

(岩手県)

わかりました。ありがとうございます。

(菊地主査)

ちなみに北海道の場合ですが、宮城県さんとほぼ一緒に、去年は地元の教育委員会の方もいらしていたのですが、会場内の移動で階段を使う方とエレベーターを使う方がいた場合に、片方に付き添ったりですとか、そんな隙間を埋めるようなことをしておりました。

ちょっと部屋を離れたいのだけど、鍵をかけてもらえるのだろうかとか聞かれ、受付に確認に行ったりですとか、そういう感じの対応をしていました。

(秋田県)

衣装とか、使うような物とか、事前に搬入される団体もあるのでしょうか。

(菊地主査)

年によってはあるようなので、それについては早めに情報をいただければと思います。また、道具類が大きくなりそうな団体様については早めに情報をいただければと思います、

## 6 閉会

(菊地主査)

その他よろしいでしょうか。

それでは、最後に山中調査官からまとめのお言葉をお願いいたします。

(山中調査官)

皆様、大会に向けてのご準備ありがとうございます。

北海道様、恵庭市様、この資料をまとめたことだけでも大変なことだと思いますので、大会に向けて、様々なご準備や、お時間がかかるとお思いますので、まずは実行委員会を設立出来たということで、本当にご協力ありがとうございます。

角先生もご出席いただきまして、ご助言くださいますありがとうございます。

大会に向けて、委員の先生方も当日は、ご出席くださいますし、各県の課長様をご出席いただきますので、本日の委員会よりも、メンバーも揃いまして、人数も多くなって、そして出演芸能の皆さんいらっしゃいますので、緊張感もあると思いますので、安全を第1に進めていただければと思います。

先ほどお話が出ましたリハーサルですが、私どもの方からしつこく毎年申し上げているのが、衣装までバッチリ着なくても大丈夫ですが、足元は通常演じるときや踊るときと同じ足元でお願いします。スニーカーを履いて、そのまま通し稽古のようにリハーサルなされるところがありますが、それですと、本番の際と具合が変わってしまいます。実際、以前も別の大会で、本番で滑ってしまった方を見たりしましたので、安全面ということで、「足下は通常通り」という事を細かい点なのですけれども、毎年アナウンスをさせていただいております。

出演団体の皆様の中には、何回もご出演いただいているところもあるかもしれませんが、舞台慣れしていない団体さんですとか、初めてこういう大きな大会に出られるということもあるかと思っておりますし、さらに出演者の中には、高齢者の方とか、お子様がいらっしゃる場合もあるかと

思いますので、その場合は特に留意していただくと大変ありがたいと思います。

先ほど岩手県さんから、「県の役目は」というご質問ございましたけれども、それぞれの出演団体さんが一番頼りにしているのは、自分の県の担当者になると思います。不安になると、一番頼りにされる人が自分になるというところを意識していただければと思います。とはいえ、県の担当者でもわからないことがあると思いますので、そういうときには、各県で情報交換をしたり、北海道さんか恵庭市さんにお尋ねいただくということで、回していただければと思っております。

もちろん、文化庁としても協力させていただきますが、こういった形で大会を成功できればというふうに思っておりますので、本当に大変だと思いますが、ご理解、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

(菊地主査)

山中調査官、ありがとうございました。それでは、設立総会はこれで終了させていただきます。この後、会場内の視察を行います。市民会館の方がご案内してくださることになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上で、令和5年度第65回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会設立総会を終了させていただきます。皆様お疲れ様でした。